

事務事業名	新学校給食センター建設事業		所属部局	教育委員会	単位番号	2012-900046				
	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		所属課室	教育総務課	課長名	塚原 浩二				
			所属担当	保健給食担当	担当者名	柴田 肇				
基本政策	V	個性と文化を育む都市づくり	予算科目	会計 01	名称 一般	款 10	項 05	目 03	細目 080	細々目 01
政策	23	学校教育の充実	事業区分	<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業 <input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 補助金交付事業 <input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他の事業 <input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金						
施策	37	学校施設の整備充実								
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (H24 ~ H28 年度)		法令根拠	学校給食法(学校給食衛生管理基準)						
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 教育施設再配置検討委員会の答申を受け、市南部の小中12校の調理場を統合した給食センターへ移行し、防災拠点施設として建設する教育委員会基本方針による事業である。平成25年度に実施設計、建設予定地の建物解体撤去を行い、平成26年度に建設工事を行う。平成27年度には各学校の既存給食室を配膳室への改築等を行い、9月の供用開始を想定している。			事業費の主な内訳 (26年度 決算見込) 項目(細節) 金額(千円) 項目(細節) 金額(千円) 報償金 0 設計監理及び測量委託料 3,888 普通旅費 27 使用料 0 消耗品費 5 工事費請負 6,599 食糧費 0 土地購入費 21,297 学教科 600 計 32,416						

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と目標

① 活動	26年度活動内容 建築確認申請、河川敷取得(払下)、水道引込工事、下水道区域外流入申請及び設計、配送校設計 27年度活動予定 センター建設工事、工事監理、	⇒	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア 厨房基本設計 イ 建物基本設計 ウ 実施設計
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	厨房機器・給食施設・児童・生徒	⇒	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア 新学校給食センター延床面積 m ² イ 児童・生徒数 人 ウ
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	平成21年に改正された学校給食法「学校給食衛生管理基準」を満たすドライシステムで調理できる環境になる	⇒	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア 施設設備が原因で発生した事故件数 件 イ ウ
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	児童生徒が安心して食べられる給食の調理ができる環境を整える	⇒	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア 食中毒発生件数 件 イ

(2) 事業費・指標の推移

年間トータルコスト	事業費	財源内訳	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	最終年度
				(決算・実績)	(決算・実績)	(決算見込・実績)	(予算・目標)	(計画・目標)	(計画・目標)	(トータルコスト・目標)
		国庫支出金	千円				178,528	31,000		
		県支出金	千円							
		地方債	千円		36,600	860,700	900,000	180,000		
		その他	千円							
		一般財源	千円	19,000	2,247	47,357	18,166	30,000		
		事業費計(A)	千円	19,000	38,847	908,057	1,096,694	241,000	0	0
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2		
		延べ業務時間	時間	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000		
		人件費計(B)	千円	9,102	9,102	9,102	9,102	9,102	0	0
		(A)+(B)	千円	28,102	47,949	917,159	1,105,796	250,102	0	0
	活動指標	ア イ ウ								
	対象指標	ア m ² イ 人 ウ			3,017.0 4,198.0	3,017.0 4,131.0	3,017.0 4,131.0	3,017.0 4,131.0		
	成果指標	ア 件 イ ウ								
	上位成果指標	ア 件 イ								

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	H21年学校給食法改正による学校給食衛生管理基準が施行され、H23年教育施設再配置検討委員会の答申を受け、南部12小中学校の調理場を統合した給食センターへ移行する教育委員会の基本方針が策定された。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	学校給食衛生管理基準は国際的に推進されているHACCP(危害要因分析必須管理)の考え方に基づいた内容となっているため、施設設備のハード面及びソフト面はHACCPに従って構築していかなければならない。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	・なぜ調理場を統合するのか・学校敷地には余裕がないのか・工夫すれば改築できるのでは・調理が学校内で行われないと栄養職員等とのふれあいがなくなるのでは・自校方式を残して欲しい等要望が寄せられている。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	南部学校給食センター(仮称)建設委員会において、施設の仕様について検討を重ねている。
③ H 26年度に実施した改革改善の内容	設計段階で見学通路、米庫、調理の縮小、調理実習室の廃止などにより床面積を縮小し、太陽光発電設備、脱臭装置を廃止して建設費を縮減した。

事務事業名	新学校給食センター建設事業	所属部	教育委員会	所属課	教育総務課
-------	---------------	-----	-------	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 子どもたちに美味しい給食を提供するという事は、「生きる力」をはぐむ学校教育の推進という施策の観点からは結びついている。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 全国的に見ると近年指定管理者制度やPFIなどによる外部委託の給食が増えているが、新しい制度については今後導入の検討をしかるべき時期に検討するものとし、当面市では栄養職員の責任の下、安心できる食材で給食を提供するものとする。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 再配置検討委員会の答申を受け策定した基本方針に現状変更はない。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後、工夫や努力をする事で、事務事業の目的に向けて現状よりも成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 学校給食衛生管理基準を満たすシステムで調理できる施設設計を完了した。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入！) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 安全安心な給食の提供ができない。 <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 安全安心な給食の提供ができない。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 設計業務でコスト削減を行ったが、建設工事においてもVE工法を検討する。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 施設設備のインシヤルコスト・人件費を比較検討し、効率のよい施設設備を導入する。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 給食を調理、提供するうえで、必要不可欠であり、見直す必要はない。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	建設作業員不足による人件費及び建築資材の高騰により、建築経費が上昇した。限られた予算の中で、安全安心の給食提供のための施設設備経費は、確保しなければならない。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果) <input type="checkbox"/> 終了	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5) 事務事業優先度評価結果 平成26年度																					
	成果優先度評価結果 コスト削減優先度評価結果																					